

久保ゼミでは、日本国内はもちろん、各国の政治や政党、選挙制度などを多角的な視点から捉え、ゼミ生同士で議論を展開していくというゼミです。主要国一つ一つの政治、選挙制度について学んだり、日本のものと比較したりするので面白いです。ディスカッションがメインとなるので、先生やたくさんの方の意見を聞きながら、自身の考え等を発表できるので、新しい発見ができ、改めて学ぶことがたくさんあります。また、週ごとにレジュメ担当やコメント担当が決まるので、本に書かれている内容をまとめる力や、逆にその内容から問題提起をしたりする力も養うことができます。ゼミの名前からして、少し難しそうな内容を扱いそうに思われますが、少しずつ、わかりやすくじっくりと議論を重ねながら行うゼミなので、ゆっくりと理解を深められるゼミであると思います。石橋琉 (20JU1159)

この久保ゼミでは、事前に決まっていた書籍を読み代表者3人がレジュメを担当し、その他の人がコメントを担当する。その中で意見の交換を行い、わからないところや疑問点などを話し合う。その中でわからないところなどは先生が細かく教えてくれるのでその日のうちに改善することができる。自分だけでは思いつかないところや普段詳しく学ぶことができないところをしっかりとできるので、1日に絶対新しいことを収穫することができる。政治や選挙を中心に学ぶことができる。学期中に議題を決めて討論をする機会があるので、その討論が自分はずごく身になる都感じている。わからないところや、質問はわかるまで丁寧に先生が教えてくれるので、すごく授業の雰囲気はよいのも魅力の一つである。森田克 (20JP1025)

政治学演習で久保先生にお世話になっている政治学科3年の石塚留伊です。私がこのゼミにおいて、一番特徴的だと思う点は、「受講生自ら発言する」ということに重点を置いていることだと思います。毎週、政治学に沿った課題の本を章ごとに担当者に分け、担当者はその章をレジュメにまとめて発表するということをしています。秋学期に入ってから、テーマに沿ったディスカッションをやるようになり、ますます発言する機会が増えています。このゼミに入れば、スピーチ力、発言力がつくこと間違いありません。また毎週課題として出される本の内容としては、政治という大きなくくりを様々な本で各分野見ていきます。「比較政治制度論」であったり、「官僚制」であったり、いまは世界の選挙制度について学んでいます。これらの政治的知識は、将来政治に関係する職に就かないとしても、知っていて損はないはずです。このゼミは、学んだことから自分の意見をもつようになり、発言力が身につく、自身との成長に向き合えるゼミだと思います。石塚留伊 (20JP1030)

私が久保ゼミに参加したきっかけは、政治制度に強い興味を持っていたからです。例えば、イギリスと日本は同じ議院内閣制を取っていますが、その実態は大きく異なります。それはなぜ生まれるのでしょうか。その違いはどのように表れているのでしょうか。こうした、政治制度の違いが国の政治にどのような影響を与えているのか、これを知りたいと思った方に久保ゼミをぜひおすすめしたいです。もちろん、政治に関する知識が全然ない人でも大丈夫です！議会、選挙、制度といった政治の基礎的な部分を春学期にしっかり固めていくので心配しないでください。今まで自分が知らなかったこと、分からなかったことが授業内でどんどん身につけてきます。また、少人数のゼミだからこそ、普段の授業では聞きにくい質問をたくさんできる点も久保ゼミの魅力です。本を読んでも分からなかったこと、自分で考えてみたけれどこれってどういうことなんだろうといった質問まで、久保先生は丁寧に答えてくださるので質問しやすいです。ぜひ久保ゼミに入って、政治への知識を深めていきませんか。皆さんにお会いできるの、楽しみにしています！徳井琴音 (20JP1034)

私たち久保ゼミは、過去から現代にかけての世界における選挙・政党・議会というテーマで毎週勉学に励んでいます。現在、3年生10名、4年生2名、計12名が当ゼミに所属しています。世界各地にはどのような政治体制が存在しているのか、どういった選挙制度が運用されているのか、大衆の政治行動をいかに論理的に理解するか、また、どのような歴史を経て現行の制度が構築されたのか、など多岐にわたるテーマを多角的、論理的に理解することが出来ます。一見するととても難解そうに見えますが、段階を踏んで着実に理解さえしていけば、世界の政治の全体像が見えてきます。当ゼミ加入当初は、私自身、関心はありながらも政治の「せ」の字も分からない状態でした。しかし現在では、それまで行ったことのなかった選挙会場にも足を運ぶようになり、また、メディアが提供する政治関連の情報を理解し、楽しむことが出来るようになりました。これは紛れもなく当ゼミでの勉強によるものです。選挙や政治制度などに興味はあるけど良くわからないという方、もしくはそれらに関する知識をより深めたい方は是非、当ゼミへの加入を検討いただけたらと思います。渡邊隆友(20JP1044)

久保ゼミでは、現代民主主義の社会を生きていくためには欠かせない選挙制度や政治制度を学習できます。有権者であれば何気なく投票できる選挙ですが、それをより公正に行うために何度も裁判が行われています。また投票結果を効果的に執政に反映するための制度が整備され、それらは歴史の中で変化

し、国の地形や風土、国民柄に適した型が模索されています。選挙は数々の熟慮が合わさった結果生まれた営みといえるでしょう。ゼミの中では政党や国会の機関についても学習します。私の場合、生きていく上で役立つものを身につけられたらいいと思って何気なく入ったゼミでしたが、選挙や政治制度への見方が変わりました。思ったより深く面白いです。講義の中では書籍の輪読やディベートを行います。意見や疑問点があつたらすぐに応じてもらえる環境が整っているので、一歩ずつ理解が深まります。これから政治を学んでみたい方や、じっくり政治制度を考えてみたい方におすすめのゼミです。清水詩央里 (20JP1070)

久保ゼミでは、プレゼンやディスカッションをしていきます。プレゼンでは、日本の政治制度の仕組みや世界の選挙制度などを取り扱った本などを生徒がレジュメを作ってプレゼンしていきます。一つのテーマを生徒一人一人がプレゼンすることで、様々な政治の知識を深く学んでいくことが出来ます。また、プレゼンを行うことにより、本の内容を要約する力や聞いている人にかに分かりやすく伝えるかなどの力も身につける事が出来ます。次に、ディスカッションでは、現在起きている政治問題などを扱っていきます。生徒間で、様々な意見があるので、多様な考え方に触れることが出来ます。また、ディスカッションにおいても、その問題に対して、自分がどのような考えを持っているのか他の人に伝える必要があるため、政治についての知識ももちろん重要となってくるが、分かりやすく伝える力も大切だと知ります。このように、久保ゼミでは、政治についての知識を身に付ける事も出来ますが、ゼミの中で発言をする機会も多いので、他の人に分かりやすく伝える力の大切さを知ることが出来ます。矢野壯太郎 (20JP1130)

久保ゼミでは、主に政治の基本的な新書から毎週担当を決め、それぞれ一章分を要約してレジュメを作り、発表します。担当部分のわからなかったことなどは久保先生に質問すると、どんなに初歩的で簡単なものであってもしっかり返してくれます。ですから、「基本的なことがそもそもあまり理解できていないから不安…」という思いがあっても安心して来てください！私自身も「選挙」や「政治」に関心はあるものの、実際しっかり知識を持っているかと聞かれると自信がありませんでした。久保ゼミに入ったきっかけも基礎から学ぶことが出来るという先輩方の声を読んだことからでした。基礎からしっかり学び直したい、政治に関する本を読んで様々な角度から知識を身につけたいと思っている方にはとてもお勧め出来るゼミです！また、他のゼミと比べて基本的に少人数のゼミ（今年は例年より多い10人ですが）なので、あまり大勢でゼミ

を行うのは抵抗がある方にもお勧めです。もちろん、知識は十分だけど更に政治を学びたい！という方も是非どうぞ。最後まで読んで頂きありがとうございます。少しでも久保ゼミに入るきっかけになれば嬉しいです。小島佳夏

(20JP1146)

政治学科3年の百瀬です。私が久保ゼミを選んだ理由は政治についてもっと詳しくなりたかったからです。授業の形式は課題の本を読んでレジュメやコメントを造る作業です。毎回の課題は大変です。しかし、力をつくと思います。内容は、選挙制度、国会のあり方、議院内閣制に関わることの全てです。それらの毎週読み簡単なレジュメにまとめて発表します。また、自分が発表することにより他の人の意見が聞くことができたり、また人の発表を聞くことにより他の考えなどがあることも学べます。ゼミは学ぶ場であるのと同時に、ほかのゼミ生と切磋琢磨できる貴重な場でもあります。その仲間たちとの絆は、卒業後も続く大切なものとなると思います。ゼミの人数は少数ではあるが、濃い内容の授業ができる点においておすすめします。この文章が参考になればうれしいです。百瀬洋希 (20JP1147)

久保ゼミでは主に政治に関わることを主題としていくゼミです。毎週の授業では、国内外問わず政治に関わる文献を各自読み進めていき各週の担当の発表者がその文献の1章をまとめてき、それを発表していくという方法で授業を進めています。各授業につき3人が発表者として発表していくのですが、発表が終わった後に他のゼミ生がその章で疑問に思ったことや、わからなかった点について発表者及び久保先生に質問する質疑応答の時間があります。また秋学期からは時事問題や争点となっているようなテーマについて事前に各自で調べてきてその争点についての自分自身の意見を持ち込み討論するディスカッションも取り入れて授業を進めています。このディスカッションでは時事問題について深く理解できることや、その問題の解決策なども多方面から検討できます。またほかの生徒の意見や考えを聞くこともでき、それによって新たな視点が生まれることもあるため、非常に有意義な時間を過ごすことができます。以上のように久保ゼミでは文献のまとめやディスカッション中心に授業を進めています。他人と意見を交換することや自身での学習を進めることで確実に新たな知識を得ることができます。渡邊進人 (20JP1152 )